

「疾患の抑制におけるゲノム安定性と環境ストレス」の国際シンポジウム

本学では文部科学省の戦略的研究基盤形成事業の支援をうけて、「疾患の抑制におけるゲノム安定性と環境ストレスの制御」の研究を平成20年度から5年間にわたって実施しています。この研究が発足して1年を迎えたところで、これまでの成果をまとめ、今後の研究の展開をはかるために、平成21年12月7日に国際シンポジウムが開かれました。このシンポジウムには、この分野で活躍する外国の有力な研究者が招待され、本学の研究者と活発な議論が行われました。

シンポジウムはまず田中健蔵理事長の挨拶で始まり、先端科学研究センター長の関口睦夫教授が戦略的研究の取り組みについて述べ、

続いて本学の瀬戸山大樹氏、熊本大学の有森貴夫氏の2人の若手研究者が酸化ストレスに対抗する酵素の働きについて分子生物学と構造生物学の両面からのアプローチについて述べました。

さらに本学の早川浩教授と日高真純教授が、遺伝子発現とアポトーシスに関わる新しいタンパク質の役割についてそれぞれ報告しました。

今回のシンポジウムには、アメリカのDempfle教授(ニューヨーク州立ストーンブルック大学)、フランスのFuchs教授(国立科学研究機構マルセユ研究所)とTakahashi教授(同ナント研究所)が参加し、それぞれ最新の研究結果について発表しました。

シンポジウムの翌日には、これら外国人研究者を中心にいくつかのグループにわかれて少人数の研究者による討議が行われましたが、これも今後の研究活動の連携をはかる上で有意義でした。



「老化の機構を探る」戦略的研究のシンポジウム



このシンポジウムは平成21年11月30日に行われ、本学の3人の研究者と中国の老年医学の研究者による研究成果の発表がありました。さらにわが国の老年医学のリーダーである折茂肇教授(健康科学大学学長)による予防老年学(preventive gerontology)についての特別講演が行われました。

老化は様々な要因の集積によって起こると考えられますが、生体内の代謝に伴って生じる活性酸素は特に重要です。本学の先端科学研究センターの高木康光准教授は、酸化ストレスによるゲノムの損傷とそれを防ぐ酵素系の働きについて述べ、中国衛生部の北京老

年医学研究所の蔡剣平教授は、老化促進マウスの脳の組織ではこれらの酵素が顕著に減少し、それに伴って核酸中の酸化塩基の量が増加することを報告しました。一方、本学内科学の大星博明教授は、老化に伴う脳血管障害の問題点を示し、今後の治療戦略としての遺伝子導入の展望について述べました。特別講演で折茂教授は、歯と骨の密接な関連を指摘し、全人的立場に立った研究戦略の必要性を強調されました。このシンポジウムには本学の多数の教員、学生が参加しましたが、活発な討議を通じて今後の研究活動について一つの方向性が示されました。

福岡医療短期大学『歯科衛生士の口腔機能向上スキルアップ講座』を開講

文部科学省の“社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム”に、福岡医療短期大学の『介護予防新時代における歯科衛生士の口腔機能向上支援をスキルアップする実践教育』が採択されました。

口腔機能の向上支援が高齢者の要介護状態を予防する介護予防として介護保険に導入され、歯科衛生士の新たな業務として注目されています。福岡医療短期大学では文部科学省の委託を受け、21年度より『介護予防新時代に

における歯科衛生士の口腔機能向上スキルアップ講座』を開講中ですが、受講定員40名に対して150名もの応募がありました。これは、超高齢社会における口腔機能の向上支援への関心の高さと、社会人歯科衛生士の皆さんの学習意欲の表れと思われます。21年度講座は22年1月末に終了し、48名の受講者が修了証を受ける予定です。22年度は、5月～9月に全9回の講義・演習を開講し、その後は同じキャンパス内にある介護施設サンシャインシティならびに

サンシャインプラザでの口腔介護実習(31時間)が実施される予定です。全プログラムを修了した受講生には修了証が交付され、福岡県歯科衛生士会や同歯科医師会等との連携により修了者の派遣や紹介を通じて、口腔機能向上による介護予防の普及を目指しています。

現在、22年度受講生(定員40名)を募集しています。お問い合わせは福岡医療短期大学スキルアップ事務局(TEL:092-801-0439)まで。



口腔周囲筋のトレーニング

学習プログラムの概要

教育項目	授業形態	時間数	単位数
A.口腔介護の知識と技術	講義・演習(相互実習)	27時間	2単位
B.日常生活介護の知識と技術	講義・演習(相互実習)	18時間	1単位
C.介護施設実習	学園内の施設で臨地実習	31時間	1単位

日時および詳細については、後日お知らせします。